

平成 25 年度

事務事業外部評価

評価結果報告書

平成 25 年 12 月

蕪崎市事務事業外部評価委員会

この「評価結果報告書」は、平成 25 年 11 月 11 日、12 日に実施した韮崎市事務事業外部評価委員会による評価をもとに作成したものであります。

1 実施内容

平成 25 年度評価対象事業は、内部評価 90 事業の中から、事前に外部評価委員が希望した事業を中心に 20 事業を対象として選択しました。

日時：平成 25 年 11 月 11 日（月）及び 12 日（火）

会場：韮崎市民交流センター 1 階 会議室 7

方法：事務事業評価シートによる聞き取り方式

2 評価結果

結果の概要は以下のとおりです。

「改善」は 7 事業、「継続」は 10 事業ありました。「改善」と評価された事業について、資源リサイクル推進事業については、拠点回収の充実、有機農業普及促進事業については、製品自体の品質改良、市民農園運営事業については、利用料の見直し、持家住宅定住促進助成事業については、受給者の実情にあわせた支給方法の導入、福祉の日記念まつり開催事業や生涯学習フェスタ事業については、参加者数を維持するとともに、それぞれが有する本来の目的の達成に向けた改善、等についての意見が出されました。

また、雇用の確保など市の重要施策である企業誘致促進事業については、市全体で誘致方針を確定する必要があると考えられます。

「継続」と評価された事業についても、市民バス委託運行事業や高齢交通弱者支援モデル事業、生涯学習市民講座開設事業など、市民ニーズにあわせた改善が求められており、他の事業も含め、漫然とした継続が認められるものではありませんでした。

「縮小」は3事業ありました。このうち、健康相談事業については、個別の相談方法、エコライフ普及促進事業については、補助金交付のあり方、武田の里まつり補助事業については、費用の負担方法について現行の方法を縮小しながらも、事業本来の目的が達成されるよう改善してほしい、等の意見が出されました。

(平成25年度事務事業外部評価委員会開催結果 参照)

3 今後の展開

いずれの事業におきましても、従来型の方法による努力は果たされていると感じました。しかしながら、PDCAサイクルにおけるC（Check＝検証）の部分が欠けているため、妥当なコスト意識が維持されずに事業収支が悪化している、あるいは事業本来の目的が不明瞭になっているという状況も垣間見られます。そのため、今後はよりの確な成果指標を設定するとともに、不断の検証を行うことによって、事業本来の目的に向かっていく新しい方法や高い意識が求められていると考えられます。

行政が行う事業は、必ずしも費用対効果だけで評価されるべきではありません。また、市民ニーズは常に移り変わっていることを踏まえながら、今後も第三者の視点で評価を行い、客観性及び透明性をより高めるなど、事業の妥当性を確保すべきと考えます。

平成25年12月10日

韮崎市事務事業外部評価委員会

委員長 安達 義通

委員 山田 守郎

委員 志村 正樹

委員 生山 澄江

委員 松本 恵子

平成25年度事務事業外部評価委員会開催結果

	事業名	担当課	内部評価結果	外部評価結果	外部評価委員会コメント
1	安全・安心なまちづくり事業	総務課	継続	継続	警察や地域、スクールガードと協働しながら、犯罪の未然防止に向け取り組みを継続すること。
2	消防団運営事業	総務課	継続	継続	現在の運営形態を維持しながらも、地域の実情を踏まえた持続可能なシステムを構築すること。
3	市民バス委託運行事業	企画財政課	継続	継続	利用状況や利用者ニーズを把握するとともに、コスト削減の努力をしながら継続すること。
4	高齢交通弱者支援モデル事業	企画財政課	改善	継続	対象地区や年齢、負担額について実情にあわせながら継続すること。
5	福祉の日記念まつり開催事業	福祉課	継続	改善	毎年度の見直しを継続しながら参加者数を維持するとともに、「福祉意識の向上」など本来の目的に向けた改善を実施すること。
6	保育所運営事業	福祉課	改善	継続	少子化や地域性のほか、利用者ニーズを把握しながら計画に沿って継続すること。
7	不妊症対策支援事業	保健課	改善	継続	市民ニーズもあり、成果もあがっている。少子化対策としても必要のため継続すること。ただし、年収に応じた補助金額について検討すること。
8	健康相談事業	保健課	継続	縮小	個別相談回数を減少させても、集団健康教育で対応が可能と考えられるため縮小すること。
9	エコライフ普及促進事業	環境課	改善	縮小	環境意識の啓発や情報の周知を重視する方法で普及に努め、現行の補助制度は縮小すること。
10	資源リサイクル推進事業	環境課	改善	改善	地区回収の改善や拠点回収の充実、収集品目の検討など、情報を精査したうえで改善すること。
11	有機農業普及促進事業	農林課	継続	改善	リサイクル推進のため、製品改良など普及に向けた改善を実施すること。
12	市民農園運営事業	農林課	継続	改善	利用料の値上げなど、事業収支の改善を図ること。
13	企業誘致促進事業	商工観光課	改善	改善	市の誘致方針を固めたうえで、従来までの方針だけでなく、新たな交渉方法を採用するなど改善すること。
14	武田の里まつり補助事業	商工観光課	継続	縮小	イベント自体の規模は維持しながら、費用負担のあり方について検討し、補助金額を縮小すること。
15	市立公園等管理事業	建設課	継続	継続	アダプトプログラムは親しみやすい名称を検討するなど、制度をPRするとともに、成功事例である穴山さくら公園にならないながら事業を継続すること。
16	持家住宅定住促進助成事業	建設課	継続	改善	市外に届くPRを工夫するほか、アンケート調査や聞き取りにより補助金受給者の実情を把握するなど支給方法を改善すること。
17	合併処理浄化槽設置促進事業	上下水道課	継続	継続	市民ニーズに合致しているため、事業計画に沿って継続すること。
18	生涯学習市民講座開設事業	教育課	改善	継続	市民ニーズを取り込んだ現在の講座だけでなく、新たなニーズにも対応しながら継続すること。
19	生涯学習フェスタ事業	教育課	継続	改善	イベント色の強化ではなく、本来の目的である公民館活動や生涯学習発表の場となるよう改善すること。
20	史跡新府城跡発掘調査事業	教育課	継続	継続	発掘に関して情報を広く公開しながら、計画に沿って事業を継続すること。

拡大	0	0
継続	13	10
改善	7	7
縮小	0	3
廃止	0	0
	20	20